

# モザイク病に強い納豆用の極小粒大豆「すずかおり」

水田利用部 大豆育種研究室 0187-75-1084



## 研究のねらい

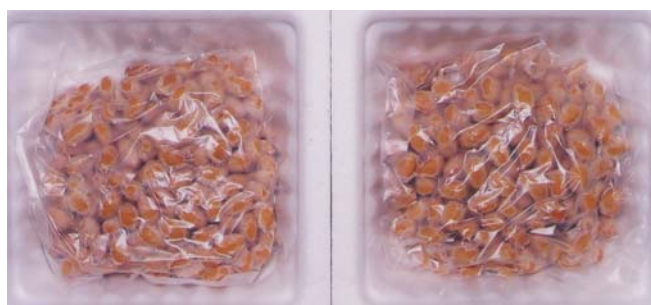
国産の納豆用小粒大豆は堅調な需要があり、東北地域では極小粒品種「コスズ」が作付けされている。しかし、「コスズ」はモザイク病抵抗性や耐倒伏性が劣る。そこで、大豆のモザイク病に強く耐倒伏性に優れた納豆用の極小粒大豆を育成する。



コスズ すずかおり 鈴の音  
図1 「すずかおり」の草姿

## 研究の成果

- ①「刈交778F<sub>5</sub>」に「コスズ」を交配し、選抜・固定を図り、「すずかおり」(旧系統名:東北148号)を育成した。
- ②「コスズ」より短茎(図1)で耐倒伏性が優り、大豆のモザイク病に強い。
- ③成熟期は中生で、子実収量は「コスズ」並からやや多収である。
- ④子実は「コスズ」並みの極小粒で、裂皮が少なく、納豆加工適性が良好である(表1、図2)。



コスズ すずかおり  
図2 「すずかおり」の試作納豆

表1 納豆加工適性試験(国産大豆協議会品質評価分科会、I工業技術センター)

品 種 名	納 豆		官 能 評 価					総 合 評 価
	硬 さ (g)	明 る さ (L*)	硬 さ	色	香 り	味	糸 引 き	
すずかおり	63	56	3.4	3.2	2.7	3.1	3.0	3.3
コスズ	94	54	2.2	2.8	2.9	2.7	3.5	2.8
鈴の音	110	53	1.9	2.2	2.8	2.8	3.3	2.4
スズマル(標準)	95	58	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

注)官能評価はスズマルを3とした相対評価(1~5)。値が大きいほど望ましい。

## 成果の利活用

- ①栽培適地は東北中南部である。
- ②2004年に山形県の認定品種に採用された。
- ③最下着莢節位高が低いため、コンバイン収穫時には刈高さに注意する。

独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構  
東北農業研究センター  
<http://tohoku.naro.affrc.go.jp/>

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4  
TEL 019-643-3433(代表)  
FAX 019-641-7794(代表)